

国土交通大臣
不燃材料
NM-2476
認定

セパレートタイプ

- 管太郎は長方形の2分割。
- パイプ径はプレス線で曲げ位置を明示。
- パイプ径表示。

フリータイプ

- 離型紙をはがし貼るだけ。
- スペース形状を選ばない。
- 便利なスケール表示。
- トータルコストの大幅削減。

建物の配管スリーブ穴をモルタル埋め戻し工法に使用するアルミ箔複合製のパッド材。防火区画貫通部に使用でき、配管廻りをスッキリ仕上げます。

管太郎®

スリーブ穴埋工法の革命児

不燃材料で安全・安心、用途拡大！
セパレートタイプで施工がラク！
より速く、安く、正確なサイズに！

規格表

呼称	パイプ径	板サイズ	梱包枚数
管太郎 S	20	200×200	100枚
	25		
	32		
管太郎 M	40	250×250	100枚
	50		
	65		
管太郎 L	80	300×300	100枚
	100		
	125		
管太郎 LL	150 200	350×350	100枚
管太郎フリー	200以上 目盛り付	400×400	100枚
管太郎キング	特殊形状 目盛り無	490×470	100枚
管太郎デカ	特殊形状 目盛り無	900×1,000	10枚

管太郎の施工方法

- 1 塞ぐべき穴の大きさと板サイズを決定します。
- 2 離型紙の片側を剥がし、V型の切込みに合わせてパイプに押し付ける様にして張り付け、天井部分と直角になるように張り合わせます。
- 3 中央部10mmをタテ重ねして下さい。
- 4 接着強度が非常に強く、貼り直しは破損の恐れがありますので、素早く一度で貼りきして下さい。
- 5 モルタル充填量が多いときは少量を入れて硬化後に残量を投入して下さい。

■使用上の注意■ 接着面の油分、水分、汚れ等をよく拭き取ってから施工して下さい。
◎防火区画に関するご不明な点は所轄消防機関にお問合せ下さい。

強粘着性タイプ



総販売元

● 建築の省力化を目指します

代理店



株式会社 東邦建材

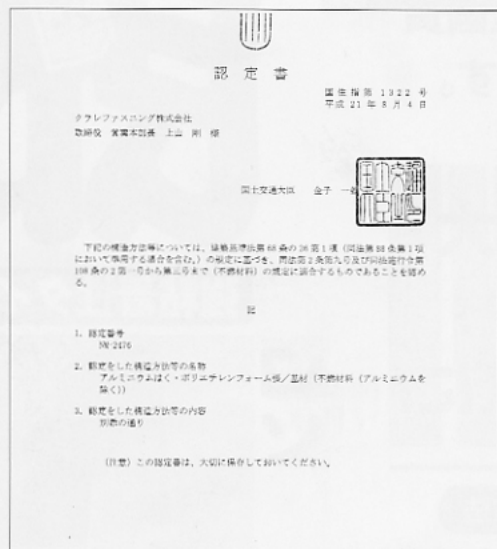
東京本社 〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-29-11
TEL 03-3553-2691 FAX 03-3553-2785

製造元

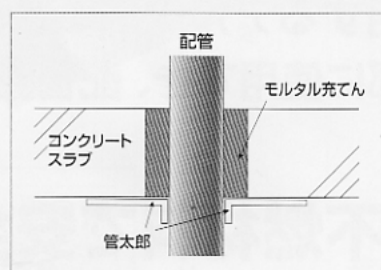
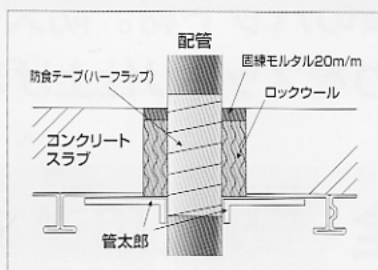
クラレファスニク株式会社

管太郎 施工例

不燃材料認定構造工法



不燃材の認定書 NM-2476



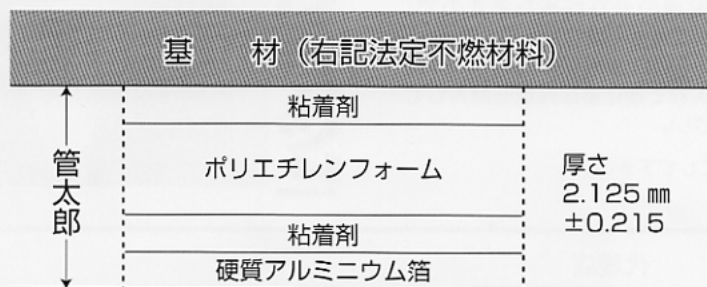
【発熱性試験結果】

試験機関：(財) 建材試験センター

- (1) 加熱開始後20分間の総発熱量が、 $8\text{MJ}/\text{m}^2$ 以下であった。
- (2) 加熱開始後20分間、防火上有害な裏面まで貫通する亀裂及び穴がなかった。
- (3) 加熱開始後20分間、最高発熱速度が、10秒以上継続して $200\text{kW}/\text{m}^2$ を超えなかった。

管太郎の不燃材料認定構造工法

管太郎は右記の基材（法定不燃材料：アルミニウムを除く）に貼付けて（複合工法）施工して下さい。



※防火区画貫通口に関しては所轄消防機関へご確認ください。

ご注意 弊社では不燃管太郎Mと不燃管太郎IIを別途製造・販売しています。「管太郎」とは用途、性能が異なりますのでご注意ください。

左図における法定不燃材とは次の材料です。（建築基準法施行令108条2各号該当材料）

- ・コンクリート
- ・モルタル
- ・金属板
- ・ロックウール
- ・せっこうボード（厚さ12mm以上）
- ・ガラス繊維混入セメント板（厚さ3mm以上）
- ・繊維混入ケイ酸カルシウム板（厚さ5mm以上）
- ・繊維強化セメント板
- ・グラスウール板
- ・鉄鋼
- ・石
- ・ガラス
- ・レンガ
- ・瓦
- ・しっくい
- ・陶磁器質タイル

管太郎承認図

